

陳 情 文 書 表

(交通局)

受 理 番 号	4 4 6 6	受理年月日	令和 7 年 10 月 2 日
件 名	観光特急バス及び一般バスの混雑解消		
要 旨	現在、京都市は、市民価格とインバウンド価格とを難しい仕組みを作 って収益を上げようとし、屋上屋を立てるがごとく、多額の費用を掛け て仕組み作りをしようとしている。これは全くの無駄遣いで、既存の仕 組みを総合的に使えば、もっと安価で懸案のバス路線の混雑の解決にな ると考える。 ついては、以下のとおり運用し、京都市観光特急バスと一般バス運用 混雑を解消することを願う。 現在、京都市が行っている政策で利用可能なシステムを以下のとおり 流用して運用すること。 1 ゴミ袋の販売と内容確認の仕組み…月 1 回の無料乗車券利用徴収確 認 2 観光特急バスの仕組み…市民のバス利用との分離 3 宿泊税徴収の仕組み…観光特急バス利用料の包括的な徴収、新たな 根拠を 4 地下鉄・バス 1 日乗車券…地下鉄利用、観光特急バス無料利用券作 成 そして、以下のとおり政策を行うこと。 1 宿泊税の徴収額の増額（1 日バス券程度、修学旅行については利用 しない場合の特例を設ける。）。 2 宿泊税を徴収している宿泊業者に観光特急バスの 1 日利用券を前月 又は適時徴収口数に合わせて有効期限付きで配布。利用枚数確認を適 切な時期の個別実地で行う。 3 使い道を観光特急バス、地下鉄の 1 日無料乗車券に充てる。一般路 線のバスは利用不可とし、観光地が集中しない近郊の一般利用路線は 限定利用。一般販売は1,000円程度とする。 4 観光特急バスの路線拡大とコースを地下鉄と連携で企画する。直行 路線型を廃止し、北部、中上部、中下部、南部ゾーンに分けるなど地 下鉄連携回遊路線を設ける。 5 その他の一般市バスのスーツケース大（縦横高さのサイズで決め る。）の大型手荷物の持込みを有料とし、価格設定を500円とする。弓 矢、スポーツ用具、楽器など通学者等は適切にドライバーが判断し、 除く。 以上のことから、予想できる効果は以下のとおりである。 1 もぐりの民泊経営の排除に効果が期待できる。登録民泊業者の政策 協力が得られる。 2 市民利用のバスから宿泊利用者の利用分離ができる。 3 スーツケース持参の移動をバスからタクシーへ誘導できる。		
陳 情 者			
回付委員会	産業交通水道委員会		